

対応状況報告書

大 学 名：山口大学

評価実施年度： 令和4年度

報 告 年 度： 令和6年度

対象となる基準	基準5－3
改善を要する点	○共同獣医学研究科（博士課程）及び技術経営研究科（専門職学位課程）において、実入学者数が入学定員を大幅に超えている。
対応状況	・共同獣医学研究科（博士課程）に現時点で改善された状況にあると判断していない。 ・技術経営研究科（専門職学位課程）：1.15倍（2020～2024年度）と改善されている。 技術経営研究科の入学者数の適正化を図る取り組みとして、入学定員15名に対し、広島教室・福岡教室それぞれ6名の入学者数を目標値とすること及び文部科学省の「国費外国人留学生の優先配置を行う特別プログラム」について、当面は申請しないことを申し合わせた。また、JICA長期研修員プログラムにより留学希望が例年1～2名あり、これらを含めて入学者数が適正となるよう管理し改善を図った。 なお、上記の改善を要する点の指摘に対しては、令和4年度大学院入試委員会において、入試委員長（教育学生担当副学長）から、実入学者数を適正に管理するように指示を行っており、令和5年度には「山口大学の収容定員管理方針」（以下「収容定員管理方針」という。）を定めた。収容定員管理方針において、「入学定員充足率は、収容定員充足率にも直接影響を及ぼす要素であることから、入学定員に対し概ね100%の入学者数を目指す」ことを明記し、入学定員の厳格な管理に努めている。また、収容定員管理方針及び各研究科の入試総括により大学院入試委員会において、各研究科課程単位の実入学者数が入学定員に対して適正になっているか、またその取り組みについて確認し、改善を指示している。

	【根拠資料・データ】 ・ 認証評価共通基礎データ様式（様式2） ・ 5-3-1-10_令和4年度第5回大学院入試委員会議事要旨（非公表） ・ 5-3-1-11_令和6年度第1回大学院入試委員会議事要旨（案）（非公表） ・ 5-3-1-12_令和6年度技術経営研究科入試について（技術経営研究科総括：入学定員充足状況）「令和6年度第1回大学院入試委員会資料」（非公表） ・ 5-3-1-13_山口大学の収容定員管理方針（非公表）
--	--

（注）

1. 機構で受けた大学機関別認証評価において、「改善を要する点」として指摘された事項の対応状況について記入してください。
2. 「改善を要する点」には、評価結果報告書の「Ⅱ 基準ごとの評価」の【改善を要する点】に記載された内容をそのまま転記してください。
3. 「対応状況」には、「改善を要する点」として指摘された事項に関して改善された状況の具体的な内容及びその改善を実現した取組について、根拠資料・データ等とともに「対応状況」欄に記入してください。
4. 根拠資料・データ等は、その名称を記載のうえ、別添として添付してください。評価結果の追記公表の際に併せて公表しますので、資料番号については、既存資料と重複しないよう、既存資料の資料番号以降の連番としてください。
5. 評価を受けた年度の翌年度を一年度目として起算した場合の三年度目の6月30日までに改善していると判断していない事項については、対応状況欄にその旨のみを記載してください。